

# トキコエニユースレター

Vol.1 ― 2026年 春号

発行：Pearl Memorial）ソウルキヤリア（ 発行日：2026年4月

1日 発行人：佐藤拓也・佐藤美菜

## 巻頭言「境界線から」

はじまりの春に

マウイの風は、いつも何かを運んできます。2023年のあの夏、ハイナを襲った炎は私たちの家も奪いました。でもあの教会で出会った人たちの手は、私たちに新しい境界線を見せてくれました。システムの外に立っていた私たちに手を差し伸べてくれた人たちは、システムの内側で、その限界を知っている人「でした。あれから3年。私たちは「境界線を越える」「ことを仕事にしました。遺骨を故郷に届ける。記憶をクォーツガラスに刻む。そして今、こうして言葉を刊行物として残すことを始めます。このニユースレターの1部は、国立国会図書館に届けられます。つまり、あなたが今読んでいるこの文章は、日本の公的なアーカイブに半永久的に保存されます。」誰かがここにいた「ことを残す――これが私たちの仕事です。このニユースレターそのものもその実践のひとつです。春。はじまりの季節に、最初の一步を。佐藤拓也

## ソウルキヤリア使い

ある帰郷の記録 ― K 家の物語

※ご本人の許可を得て、一部を匿名化して掲載しています。ロサンゼルスに暮らすKさん）70代（から連絡をいただいたのは、昨年の秋でした。「父の遺骨の一部を、祖父の墓がある九州に届けたい」「Kさんの父は1940年代にハワイから本土に移り、そのまま日本に戻ることはありませんでした90歳で亡くなるまで、」いつか帰る「と言い続けていたそ

うです。私たちはKさんと一緒に九州を訪れました。古い墓地で見つけた墓石にはKさんの祖父の名前が苔に覆われながらも刻まれていました。墓前で手を合わせたKさんが言った言葉が忘れられませんか。「父は帰ってきました。ありがとうございます。」私たちは遺骨を届けるだけでなく、墓地の清掃を行い、地元の寺院にも挨拶をしました。住職は快く迎えてくださり、改めて供養の読経をあげてくださいました。この春も3件の帰郷のご依頼をいただいています。一つひとつ丁寧です。

## トキストレージ通信

1000年残る記憶——クォーツガラスへの刻印  
トキストレージのクォーツガラスは、レーザーで情報を刻み込んだ合成石英です。自然劣化に対する耐性が極めて高く、理論上1000年以上にわたって情報を保持します。  
今季の取り組み

・伊勢神宮への奉納…2026年の正式奉納に向け、準備を進めています。奉納するクォーツガラスには、これまでにソウルキヤリアがお手伝いした全ての帰郷の記録が刻まれます。  
・QRコードの進化…クォーツガラスに刻まれたQRコードから、故人のデジタルメモリアルページにアクセスできる仕組みを改良しました。オフグリッド環境でも閲覧できるよう、Starlinkとの連携も検討中です。  
・新サービス「パールソープ」…故人の思い出を香りに込めた石鹸を開発中。クォーツガラスとセットで提供する「記憶のパッケージ」として展開予定です。

### コラム：なぜ石英なのか

紙は数百年で朽ちます。デジタルデータはサーバーが止まれば消えます。でも石英（SiO<sub>2</sub>）は地球上で最も安定した鉱物のひとつです。火山の中でも、深海でも、石英は形を保ちます。」存在の証明」を託すのに、これ以上の素材はありません。

## バウナダリストの窓

## 「システムの外」から見えるもの

バウンダリストとは、境界線上に立つ人のことです。システムの外にいる人。あるいはシステムの内側にいて、その限界を見ている人。この春、私たちは「存在証明の民主化」というテーマに取り組んでいます。住所がない。戸籍がない。保険証がない。——日本にも、アメリカにも、「存在していないことになっていない人」がいます。行政の窓口で「該当なし」と言われた経験はありますか？ あるいは、窓口の向こう側で「規則ですから」と言わざるを得なかった経験は？ 境界線の両側にいる人たちが出会うとき、何かが変わる可能性が生まれます。次号では、実際に「存在証明の壁」に直面した方のインタビューを掲載予定です。

## トキコエニユースレターの台所

### マウイのスパムむすび——境界線上の味

ハワイのコンビニに行くとき、必ず見つかるのがスパムむすび。日本のおにぎりやアメリカのスパム缶詰が出会って生まれた、まさに「境界線上の食べ物」です。ラハイナの火事の後、避難所で最初に配られた食事のひとつもスパムむすびでした。

#### レシピ）4 個分（

材料・ごはん（2合分）少し固めに炊く（・スパム…缶）薄切り4枚（・焼きのり…4枚）おにぎり用（・醤油…大さじ1・みりん…大さじ1・砂糖…小さじ1 作り方  
1・スパムを1厚に切り、フライパンで両面をこんがり焼く  
2・醤油・みりん・砂糖を混ぜたタレを絡める  
3・スパム缶を型にしてごはん→スパム→ごはんの順に詰める  
4・海苔で巻いて完成 マウイの風に吹かれながら食べると、日本とハワイの境界線が溶けていく気がします。

## お知らせ

### パトロンプログラム

トキコエニユースレターの印刷版は、パトロンの皆さまに

毎号お届けしています。・Visionary パトロン…印刷版 + 名前掲載 + 年間報告書・Builder パトロン…印刷版 + 名前掲載・Starter パトロン…PDF版 + 名前掲載 詳しくは Patron プログラムのページをご覧ください。

## 寄稿のお願い

「境界線」にまつわるあなたの経験を、聞かせてください。次号以降で、読者の声を掲載するコーナーを設ける予定です。

## 次号予告

Vol.2 | 2026年夏号(2026年7月発行予定)  
特集：レジリエンス——ラハイナから3年 2023年8月のマウイ島火災から3年。復興の現在地と、災害が見せてくれた「境界線」について。

## 奥付

誌名トキコエニュースレター / Tokikoe Newsletter 巻号 Vol.1) 2026年春号(発行日2026年4月1日発行 Pearl Memorial) ソウルキャリア(発行人佐藤拓也・佐藤美菜 所在地 Maui, Hawaii, USA 連絡先) メールアドレス(印刷) 印刷所名 (ISSN申請中) 本誌は国立国会図書館に納本されています。

Crossing boundaries through resonance. 共鳴で境界線を越える。次号は2026年夏号) 7月発行予定(です。